

第3回青果市場跡地まちづくり構想委員会に出席しました

第3回青果市場跡地まちづくり構想委員会が平成29年6月1日に開かれ、まちづくり協議会からも4人の委員が出席しました。市から、青果市場跡地まちづくり構想（素案）や今後の進め方等について詳しく説明がなされました。裏面の福岡市発行「まちづくりだより」に委員会の概要がありますので、ご覧ください。



(構想委員会当日の様子 H29.6.1)

「青果市場跡地まちづくり構想(素案)」が出されました

今回の構想委員会では、まちづくり構想（素案）が示されました。構想（素案）において、コンセプトや導入する機能・空間のイメージ等が示されており、住民アンケートや地域でのワークショップを通して、賛同する声が多かった、「児童や生徒が運動できる空間」「地域がイベントや災害時等に利用できる多目的な空間」「賑わいを創出する機能や空間」が必須機能として位置付けられています。

○跡地活用のコンセプト



「まちづくり構想（素案）」より抜粋

地域の資源を活かし、健康でアクティブなライフスタイルを体現する



魅力 × 健康 × 交流



○導入する機能・空間 ★導入が必須の機能 ◎導入が望ましい機能

新たな顔づくり

(導入機能・空間のイメージ)

- ◎福岡・九州の食の体験・発信拠点（マルシェ、フードマーケット、6次産業、ビジネスマッチング、WITH THE KYUSHUの取組み など）
- ◎体験施設（スポーツ、ものづくり など）
- ◎周辺施設（竹下商店街、食品工場など）との連携機能
- ◎新たなシンボルとなる空間づくりや先進的取組み
- ◎災害時に被災地への支援物資等の受入れ・保管・出荷を行う機能
 - ・鉄道やバスの利用促進機能 など

生活の質の向上

(導入機能・空間のイメージ)

- ★児童や生徒が気軽に運動できる空間
- ★地域がイベントや災害時等に利用できる多目的な空間（屋外、屋内の交流スペース）
- ◎子育て支援施設、高齢者向け施設
- ◎医療施設（メディカルモール など）
- ◎運動施設（ジョギング・ウォーキング など）
- ◎緑豊かな空間

など

開かれた場づくり

(導入機能・空間のイメージ)

- ★賑わいを創出する機能や空間
- ◎様々な学びや体験を共有できる空間
- ◎子どもたちがのびのびと遊べる空間
- ◎安全安心な歩行空間
 - ・広場や緑道等による回遊ルート
 - ・オープンスペースや建物などの多様な機能による一体的な空間形成

など

※上記は第3回の構想委員会での意見を踏まえ、修正されたものです

市民意見の募集のお知らせ

福岡市は、まちづくり構想（素案）について、市民意見募集を実施するとのことです。日程や募集方法など詳しいことは、市政だよりやホームページに掲載されるとのことです。

◎構想委員会の資料は、下記福岡市ホームページで確認できます。 [青果市場跡地のまちづくり](http://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/atoti_keikaku/shisei/seika_atochi.html)

検索

■ 青果市場跡地まちづくりだより

青果市場跡地活用の指針となる「まちづくり構想」の検討に際し、多様な観点からご意見をお聞きする青果市場跡地まちづくり構想委員会の第3回委員会を6月1日に開催しました。

今回は、まちづくり構想の素案や今後の進め方等についてお示しし、委員会でのご意見を踏まえ、まちづくり構想（素案）を取りまとめました。

1. 構想委員会での主なご意見

（コンセプトについて）

- コンセプト「食・健康・交流」は、目的がすごくはっきりしてよい。分かりやすくしてほしい
- 食が少し尖りすぎないイメージ。民間の創意工夫が発揮できるようキーワードの出し方を考えてほしい

（跡地に導入する機能について）

- 地域は広場や子供のための何かしてほしいという意見が多い、一括処分の方向の中では、十分配慮いただきたい

- 児童生徒が気軽に運動できる空間などは、規模等がどうなるか、ある程度のイメージが欲しいと感じる

（空間づくり及び周辺への配慮事項について）

- 緑をつくり込みボリューム感を持たせることが重要
- 建ぺい率を抑え、緑豊かな空間を確保し、モデルとなるような空間を作ってほしい
- 都心型として高度利用し、緑や広場が多く、駐車場が目立たない配慮をした事業者を高く評価してほしい

【→対応②】

- 筑紫通りJR側どちらも表裏なく見えるように配慮してほしい
- 竹下商店街と連携し、共存繁栄できる仕組みが大事
- 竹下駅からの周遊性向上
- 図の中に竹下商店街を記載して、しっかり結ぶことを強調してほしい

【→対応③】

（交通対策について）

- 交通渋滞の緩和に寄与するよう、事業者には竹下駅や大橋駅との連携を検討してほしい
- 公共交通の重視をしっかりとうたっておき、公共交通を重視する企業にきてもらいたい

（地域をはじめ広く愛されるまちづくりに向けて）

- だんだん廃れて、ゴーストタウン化し、閉鎖空間にならないようにしてほしい
- 愛される施設となるよう地域、住民が関われるような、情報が入るような仕組みを作ってほしい

（その他）

- 飛び地については、本体と相乗効果がでるような利用方法が望ましい
- 事業者がしっかりと事業性を踏まえた提案をするよう、公募の段階などできちんと評価したほうがよい

2. ご意見を受けての対応

全体としては概ねご理解を得られたが、頂いたご意見については、下記の通り対応します。

対応①：コンセプトのキーワード「食」を「魅力」に変更

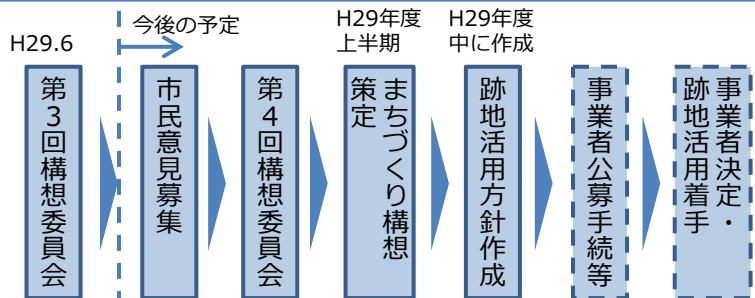
対応②：コンセプト説明文に「緑豊かでゆとりある空間」を追記

対応③：跡地の空間づくり及び周辺への配慮事項の図中に「竹下商店街」を追記

その他、構想に記載する内容についても、構想委員会でのご意見を踏まえ、民間の創意工夫やより良い提案を引き出せるよう、公募において評価する方法などを検討していくこととする。

3. 今後のスケジュール

- 今回、作成した青果市場跡地まちづくり構想（素案）について、市民意見の募集を行う予定です（期間や閲覧・配布場所等は、市政だより及びホームページでお知らせいたします）



※跡地では今年度末までの予定で現在解体工事を実施しております。ご迷惑をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

◎まちづくり構想（素案）や委員会の資料は、下記福岡市ホームページに掲載しています。

福岡市ホームページ> 市政全般> 道路・交通・都市整備> 都市整備> 青果市場跡地のまちづくりの検討について
http://www.city.fukuoka.lg.jp/jutaku-toshi/atoti_keikaku/shisei/seika_atochi.html

◎まちづくり構想委員会及び青果市場跡地のまちづくりについてのお問い合わせ

福岡市役所 住宅都市局 跡地活用推進部 計画課 担当 宮川、浅野

電話711-4957 FAX733-5011 E-mail keikaku.HUPB@city.fukuoka.lg.jp

青果市場跡地のまちづくり

検索